

議長定例記者会見 会見録

日時：平成28年3月1日 13時30分～

場所：全員協議会室

1 発表事項

「みえ高校生県議会」の参加校募集について

2 質疑項目

「みえ高校生県議会」の参加校募集について

平成28年度当初予算案について

1 発表事項

「みえ高校生県議会」の参加校募集について

(議長)大変お忙しい中、お集まりをいただきまして、ありがとうございます。サミットまであと86日になってまいりました。気分的に慌ただしい感じになっております。そんな状況ですが、ただ今から、3月の議長定例記者会見を開催いたします。まずは、「みえ高校生県議会」の参加校募集について、こちらの方から発表させていただきます。具体的な内容につきましては、副議長が広聴広報の担当をしておりますので、副議長の方から細かい内容について詳しく発表させていただきますので、よろしく願いいたします。副議長、お願いします。

(副議長) それでは、私から「みえ高校生県議会」の参加校募集について、説明させていただきます。お手元に配付させていただきました資料のとおり、今年の8月19日(金)ですが、県議会議事堂の議場におきまして、本県議会では平成26年度に続きまして2回目となります「みえ高校生県議会」を開催することとなり、今回、県内の高等学校などを対象に、参加校を募集させていただきます。この「みえ高校生県議会」ですが、高校生が議員役となって質問を行い、答弁は常任委員会委員長等が行うこととしておりますが、「みえ高校生県議会」への参加を通じて、高校生の県議会に対する関心を高めていただくとともに、高校生の意見を直接聴くことで議会での議論に反映できればと考えております。募集校数は10校まで、募集期間は3月7日から4月28日までとしております。応募方法については、各学校から参加申込書を議会事務局まで提出していただくこととしております。なお、参加校の決定につきましては、5月中旬を予定しております。募集校数を超えて応募があった場合は、広聴広報会議委員による選考のうえ、参加校を決定することとしております。参加校に

については、決定後、改めて発表させていただきます。前回、平成26年度ですが、初めての開催でしたが、高校生の質問はどれもすばらしく、全体的にとっても良かったのではないかと考えておりまして、今回についても、高校生に積極的にご参加いただき、高校生らしい率直な意見を伺えることを期待しております。私からの発表事項は以上でございます。

2 質疑項目

「みえ高校生県議会」の参加校募集について

(質問) 前回は平成26年度ということは、昨年度あったみたいですけど、これも同じ夏休みの時期だったのでしょうか。

(副議長) そうですね。昨年度も夏休みでございまして、ちょうど学校の休みがタイミングいいというか、集まりやすい状況でございました。

(質問) 副議長が高校生の意見を直接聞いて、県議会の議論に反映できればとおっしゃいましたけれども、前回出た意見で何か反映できたものって具体的にはありますか。

(副議長) 前回8校で、質問項目が複数ございまして、20を超える項目であったと思っております。高校生らしい内容もさることながら、例えば、津波対策としての高所移転だとか、魅力ある農業経営だとか、観光PR、そして女性の人権、高校教育にかかる費用について等々、さすがに高校生らしい質問があったと記録されておりますし、一般議員がその高校生県議会の後の9月議会で、同趣旨の質問を知事部局にしたということも聞いておりまして、非常に関心が高かった、価値のある、意義のある高校生県議会だったと聞いております。

(質問) 前回の平成26年度で、もし分かればなんですけど、申し込みは多かったんですか。第1回目の際は、募集校数というのが定員を超えて応募があったんですか。

(副議長) 前回、募集校数が8校に対して、13校応募がございまして、そこで地域的とか学科とか等の配慮をさせていただき、8校になったわけございまして、質問を複数認め、質問と答弁を合わせて10分までであり、十分な答弁ができなかったということも反省点がございましたので、今回、8校を10校と2校増やしまして、10校に広げました。そして、あわせて質問は1つということとさせていただき、再質問は認めるということで、トータルで15分、

このような形で学校数を広げて、内容を濃くしたと。このように改善というのか、前回からはちょっと改良をさせていただきました。

(質問)議長、この高校生県議会に期待すること、どのようなことを期待しますか、ということを一言。

(議長)ご案内のとおり、高校生の在学中に選挙権を得る人たちも出るということでございますので、前回とは違う、正々堂々と政策に参画できる人たちも含めて、そしてまた間近の選挙で当然その選挙権を行使できる、そういった方たちのご意見でございますし、三重県議会のベテラン議員たちの質疑とはまた違う新鮮で角度の違う部分からのご意見なり、提言なりが出てくるのではないかと大変期待をしております。

(質問)基本的には学校で申し込むということになるんですね。個人ではなくて。

(議長)学校の方に出しますので、手続き的にはどちらでもいいとは思いますが、学校側から、個人から。

(副議長)学校で校長先生の印鑑をもらうこともございますので、学校で提出していただくとしておりまして、全部で93校が対象となります。公立、私学、高校もいろんな普通高校だけと違いまして93校。そこから校長先生の印鑑と担任の先生、対象生徒が4名以内で名前書いていただいて、とりあえず項目だけ、どんな項目かなということだけは書いていただいて、応募用紙に書いていただく。そこで選考をして、結果が決定したら、質問内容をまた改めてお願いすると、こういう2段構えになります。

(質問)仮に個人、1人だけで申し込みたいというふうになったとしても、1人で申し込むことも学校のハンコさえもらえば可能ということですか。

(副議長)2名から4名としておりますので、1人はまずない。2名から4名。

(質問)仮に1人でも申し込みたいという人がもしいたときに、そういう子たちを受け入れる要素はあるんですか。

(副議長)学校で相談してもらえないですね。

(質問)議長すいません。先程おっしゃったことなんですけど、在学中に選挙権をもらう人も出るから、前回とは違う意味合いだと、言われていますよね。

(議長)今までだと20歳になったら選挙権が得られるという、ちょっと先みたいな感じでしたけれども、まさに今、選挙権を持っている人たちにそのまま参画をしてもらう、体験をしてもらうわけですので、もっと臨場感のある形になるんじゃないかなと思っておりますし、重みも出てくるんじゃないかなと思いますね。発言や提言の中にですね。

(質問)答弁にも重みがでてくると。

(議長)これはもう答弁する議員の皆さん方、大変なことだと思います。

平成28年度当初予算案について

(質問)28年度の何かこう新年度予算案の印象とかそういうのがあったら伺いたいんですけど。

(議長)当面サミット関連予算というのが、クローズアップされておりますので、その部分と、思い切った予算措置を提案していただいているんですけど、昨年度より延びている予算を提案していただいておりますけど、企業会計からの繰り入れだとか、かなり当面のサミット関連予算をサミットという大きな行事を受ける中で、他の自治体なんかも同じような厳しい財政運営を強いられている中で、サミット関連を受けながら、かなり苦労した予算編成であるんだなというイメージがあります。その中身については、まさに今一般質問等で具体的に大事な課題が、浮き彫りになっていると思っております。まだ一般質問が2日残っていますし、あるいはまた常任委員会等々で、それぞれの議員の中から今回の前年度比1.1%増という、膨らんでいる予算に対しての問題意識、突っ込み方は、しっかりと見ていきたいと思っております。執行部側は大変ご苦労された予算だなというのが私のイメージでございます。

(質問)議長のおっしゃっている思い切った予算というのは、具体的に言うところどういったところをおっしゃっているんですか。

(議長)企業会計からの繰り入れという予算自体の歳入、厳しさというのはある中で、今まで私自身もあまり別会計から持ってくるというのは記憶が無かったものですから、そこまでしなごらの苦労した予算じゃないかなと思っておりますが、長期的に見たらそれがうまくおさまっていくのかどうなのか、そのへんもこれ

から議会としてチェックしていく大事なことだと思っています。

(質問)今の企業会計の借り入れの件なんですけども、その是非については、例えば本来すべきではないとか、致し方ないとかそのあたりはいかがなんでしょうか。

(議長)制度的には執行部側も、こういう形はあり得ると言っておりますので、制度に無いことをやったわけではないのですけれども、先程申し上げましたように後の始末と言いますか、きちっと企業会計にどういう形で戻していくのか、そういった提示についても、議会としてもしっかりとチェックをしていく必要があるんじゃないかと思います。

(質問)議会として、何年間で完済しなさいとかそういうものを提示する用意はあるんですか。

(議長)それぞれの常任委員会で各議員からはどこまで突っ込んだ議論になるのかはちょっとわかりませんが。

(質問)議長としてその辺りまで期待されているということはあるんですか。

(議長)利息とかそういった部分はこれからという執行部側の考え方が出されておりますけども、まだ出ていないので、どこまで突っ込んでいただくか、私は議会としてその部分についても県民に明らかにしていただきたいと思っております。常任委員会に期待したいと思います。

(質問)サミットの県関連予算、県費負担が49億円ということだったんですけど、それについての所見はいかがでしょうか。

(議長)新政みえの前田議員からは、これから地方で開催をしていくにあたって1つの標準となるのだから、金額について一定程度おさえた方がいいんじゃないかというような代表質問がありましたけれども、三重県が初めて地方でこういう形で開催するというので、具体的に積み上げてきたものが今回のこの数字となっておりますので、どこをどう削ったら少なくともどうやったらできるのか、その辺についてはサミットの結果を見ても分析がしにくいかなと思いますけど、内容につきましても議会としてしっかりと本当にそれだけ要ったのかどうなのか、終わってからの結果等もしっかりとチェックしていく、そういう形になるんじゃないかなと思っております。今のところ中身があがって

りますけども、これが多い少ないということはちょっと発言がしにくい資料ですね。

(以 上) 13時48分 終了